

第7回 総合計画審議会（共生分科会） 議事要旨

日時 平成22年7月15日（木）午後3時00分～5時00分

場所 横須賀市役所3階301会議室

出席委員 吉川智教委員（座長）、松本暢子委員（副座長）、青木康太委員

加藤茂雄委員、原田昭一委員、木村武志委員、木村忠昭委員、小林康彦委員

高須和男委員、高山英夫委員、林公義委員（敬称略、以上11名）

事務局 横須賀市都市政策研究所 福本政策担当課長、小澤主査、檜山主任、山中主任

傍聴者 なし

議事内容

1. 報告事項
2. 審議事項
3. その他

< 開 会 >

1. 報告事項

（事務局）

- ・ 資料1、2（議事要旨）の確認

（事務局）

- ・ 前回の審議会でお答えできなかったことについてご報告させていただきます。
- ・ まず、木村（武）委員からご指摘いただいた、「グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン」向けの放射能の測定についてですが、まず、民間施設の放射能の計測については県内では2カ所、川崎の東芝周辺と横須賀のグローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン周辺の測定が行われています。市役所の1階でご覧頂いたのはこちらの数値です。
- ・ つぎに、原子力艦については文部科学省の所管であり、委託を受けた財団法人日本分析センターが検査を行っています。
- ・ 国内では横須賀・佐世保・沖縄が対象となっており、横須賀については10カ所のモニタリングスポットを設けています。
- ・ 次に小林委員からご質問頂いた災害時の尿尿処理やゴミ・廃棄物の処理についてです。地域防災計画の中では、廃棄物の集積場所や処理方法、簡易トイレの種類別の設置場所別設置数などについて細かく定めてあります。また、瓦礫処理につきましても、市内5カ所で集積場所を設けて、迅速な応急・復旧が可能となるよう計画されています。
- ・ 林委員からご指摘頂いた耐震診断の終了状況についてですが、市の公共建築物約2,000棟のうち、近年建設されたものや木造などの建物を除き、診断を受ける必要があるものが50棟あまりあります。
- ・ このうち半数以上は、補強終了もしくは補強設計中、あるいは診断の結果対策が不要のものでございます。
- ・ また、ハザードマップについてのご質問もいただきました。現在ハザードマップについ

ては、津波、洪水、内水を対象として策定しています。津波については市内5カ所を対象としたハザードマップを作成しています。また、洪水については、平作川、鷹取川、松越川・竹川で策定しています。さらに内水については1時間に60mm以上の雨が降った場合を想定して、市内7カ所を対象として策定しています。

(木村(忠)委員)

- ・どこに行けば、そういうことがわかるのでしょうか。

(事務局)

- ・内水については上下水道局、洪水と津波については市民安全部で配布しています。

(林委員)

- ・該当する地域住民の方には配布されているのでしょうか。

(高須委員)

- ・町内会で必要部数を申請するように市から連絡を頂いているので、対象地域には全て配布されていると思います。

(事務局)

- ・吉川座長から防犯カメラの値段についてご質問を頂きましたが、1基当たり最大67万5千円の補助を出しています。なお、市では75万円を想定してその9割までは補助をするという想定で、この補助金を設定しています。
- ・しかし、防犯カメラを設置する際には、同時にポールを設置するケースが多く、実際の設置費用はかなり高いようです。
- ・高須委員からご指摘頂いたスクールゾーンに交通規制をかけてはどうか、という点についてです。昔、国が出した通知によれば、基本的にスクールゾーンには交通規制をかける事が望ましいということになってはいますが、実際に全てに規制をかけることは難しく、地域の実情に合わせたかたちとなっているようです。
- ・なお、市民安全部では、市民からこうした要望があった場合には、警察に申し伝えていくとのことです。

2. 審議事項

(事務局)

- 資料 第3次素案「冊子イメージ」を説明
- 資料3 説明
- 資料4 説明

(吉川座長)

- ・それでは「3次素案の冊子イメージ」について、議論をしていきたいと思っています。

(高山委員)

- ・ 3ページに「厳しい財政状況」と記載されています。私どもとしても足腰の強い横須賀市であってほしいという思いがあります。
- ・ 市の財政をいかに改善していくかということと、23ページで新たに加えられた「政策展開の基本方針」との間で関連性があるのでしょうか。
- ・ 資料3「特別委員会の意見一覧」の11ページから12ページにかけて、就労者に関する質疑が記載されています。冊子イメージの19ページに「産業」に関する内容が記載されていますが、人があってこそ産業が成立することを考えると、この中に産業に従事する「人」について触れるところがあってよいのではないかと思いました。別のところに盛り込んでいるのかもしれませんが。
- ・ 第一次産業ということであれば、生業として成立しないから後継者が育たないという実態があります。

(事務局)

- ・ 財政が厳しいという点については、第1章で記載しているとおりです。それに対して第3章の「政策展開の基本方針」、これは計画全体に絡む内容ですが、厳しい財政状況についてどのように立ち向かうかということ想定して記載したものです。
- ・ 財政基盤を整えるためには、まず、横須賀を支えてくれる人を育てて確保することが重要であるという観点から、1点目の内容が記載されています。施策全体で人を育てようという考えです。
- ・ また高齢者については、マイナスのイメージで捉えがちですが、元気な高齢者の力を活かすことで、財政的にもプラスに寄与するのではないかという観点から、2点目の内容を記載しました。
- ・ 3点目は、そういった人をとどめることと、外の人を引きつけることを記載しています。
- ・ 農業の後継者の問題については、この審議会の中でも漁業含めてご議論頂きました。政策としては就農者、就業者の雇用を増やすという書き方は行政としては難しく、業として成り立つ環境をいかに構築するかが重要であると考えています。
- ・ 施策では、生業として農水産業が成り立つような支援を行うことを記載しています。

(吉川座長)

- ・ 横須賀市の財政を考えますと、この地域の人が住みやすくなっていることが重要となります。そのためには、小さい子どもがいる家族が住みやすい場所にすることが第1であると思います。
- ・ 2番目には新しい産業をどのように興していくかが重要です。
- ・ 3番目は高齢者の割合が高くなることへの対応です。高齢者はこれまでとは違うサービスを望んでいるわけですので、それを新しい産業や雇用に結びつけていくということも必要だと思います。
- ・ 農業についても、魅力ある農業をどのようにつくっていくのか、また、若者がおもしろいと感じ、かつ所得も低くないという状況をつくり出すことが必要です。
- ・ 農業従事者、漁業従事者自身が考えていけないといけないと思います。

(松本副座長)

- ・ 市民会議に参加させていただき、直接市民と話をする機会を頂きました。
- ・ 基本計画の冊子につきまして、どういった方が読むのかということもありますが、市民の目で見えてわかる内容や書き方が大事だと思います。
- ・ 今ご指摘にあったようなことも、もう少し丁寧に記載して頂いた方がよいでしょう。
- ・ 例えば、市民会議の意見についても、本当に盛り込まれているように市民の方が読めるのかどうかという観点から見て、やや疑問があります。あくまでも役所の資料であり、市民のための表現にはなっていないように感じます。
- ・ 財政の問題については、第3章の中で、財政が厳しい状況への対応を想定しているという心づもりが見えるような記載も必要ではないでしょうか。全体的な感想としてそう思いました。

(吉川座長)

- ・ 横須賀市の基本計画はこういった形で作った方がよいということもあるので、この文書そのものは否定しません。ただし、これは内部向けであり、市民に対しては、短くまとめて提示したほうがよいと思います。
- ・ 計画書にはたくさんの方が書かれています、市民が知りたいのはベスト5程度の内容です。逆にそうしたメリハリをつけた見せ方をしないと、市民は興味を持たないと思います。
- ・ 計画書としては問題ないと思いますが、市民向けの冊子としては別途考えたほうがよいでしょう。

(事務局)

- ・ 全てわかりやすいように書き下すというのは難しいと思いますが、ダイジェスト版はつくります。
- ・ 従来のダイジェスト版は、前半部分は本書とまったく同じで内容で、後半は体系のみを記載するといった形で、全体をただ短くしただけのものでした。
- ・ 内容がわかりやすいダイジェスト版を検討する必要があると思います。

(吉川座長)

- ・ 市民の関心がある部分だけを記載するということが重要だと思います。

(高山委員)

- ・ P23 の政策展開の基本方針の(1)～(3)ですが、第2章で人、産業、土地利用という観点から整理されているにもかかわらず、この章で突然「人」という側面だけになっていることに、少し違和感を感じました。
- ・ 未来を支えるのは子どもですが、子を育てる親が働き場所を求めて横浜や川崎に出て行っている状況ですので、親たちに横須賀に居住してもらわないといけないと思います。
- ・ 基本方針の3つめで「人を惹きつける魅力」としてありますが、確かに、集客が増加すれば産業への効果はあるかもしれませんが、しかし、人が住み続けるための産業振興など、

居住者を増やすことについても考える必要があるのではないのでしょうか。

- ・ Y R Pの方は都心から通勤している場合が多く、横須賀に住む人は少ない状況です。そういう意味で、地場産業の育成といった内容が記載されてもよいと思いました。

(事務局)

- ・ 「人を惹きつける魅力の創出」につきましては、これまで本市では、外から集客するための観光政策に重点をおいてきました。
- ・ 新しい計画では、まずは、市民に横須賀の良さを知って頂き、住みたいまちにしていくという「インナープロモーション」が重要との考えに立っています。
- ・ そうしたまちは外から見ても魅力的に映るので、訪れる人や企業も惹きつけることになると考えています。

(吉川座長)

- ・ 横須賀は産業が少なく、出稼ぎの地であるという認識を持つことが極めて必要です。
- ・ さらに、市外に人が流出している状況にあるので、住みやすい地にするとともに、産業をどう興していくのが重要です。
- ・ そうした観点から、農業とか水産業は極めて重要です。また、Y R Pと連携した研究産業の育成にも取り組む必要があります。こういったことは記載されているのでしょうか。

(事務局)

- ・ P55～P56に関連する施策を記載しています。
- ・ Y R Pと連携した具体的な取組みについては、実施計画の事業として書き込むことになります。

(吉川座長)

- ・ Y R Pに行ったことはありますか。どういった感想をお持ちでしょうか。創業や起業につながっているのでしょうか。

(事務局)

- ・ 産学官交流センターを設置し、大学の分室を誘致して新しい技術を生み出すという取組も実施しています。ただし、規模が小さいという問題があると認識しています。
- ・ 現在は5,000人以上の市内居住者を生み出しています。その数は伸びてはいませんが、定住や税収という点で、一定の貢献があると理解しています。

(吉川座長)

- ・ 重要な点は、横須賀の企業とどういう連携が持てるかということです。そうでないと落下傘部隊のようにやってきて、連携しているのは東京の企業や大学という状況になってしまいます。市内企業との連携を図らないと、近くにある意味がありません。
- ・ そういう観点では、Y R Pにある企業の実態について、訪問して調べるといった「御用聞き」のようなきめ細かい対応が重要です。

(小林委員)

- ・計画の読み手が市民ということであれば、是非まとめの工夫をしてほしいと思います。
- ・また、市民にとってわかりやすい行政展開をして頂きたいと思います。例えばハザードマップなどのように、各分野では細かく情報を整理していますが、それを住んでいる方の立場に立って情報提供していく必要があります。
- ・非常に厳しい財政状況にありますが、工夫をすればさらに有効活用できる点があるのではないかと思います。財源を有効活用していくという視点は必要です。

(事務局)

- ・2点目のハザードマップのご指摘については、それぞれ作成している担当部局も理解しており、今後どのように使って頂けるかが課題であると認識しています。

(小林委員)

- ・セクションごとにはそれぞれ良いものをつっていると思います。しかし、実際にそれらを集約して市民に情報提供できているかが、大きな問題だと思います。

(松本副座長)

- ・市民会議でも、何か困ったことがあったときに、市はいろいろなサービスを提供してくれているが、そのサービスをどこが提供してくれるかがわからないといったご指摘は多く出されました。
- ・市民から見たときに、どこの課が実施しているかという情報ではなく、同じサービスがまとめて提供されるようなわかりやすさが必要ではないでしょうか。

(事務局)

- ・「詳しく聞けばいろいろやっていることはわかる」というご意見をよくいただきます。広報の仕方に問題があるということは認識しています。
- ・3次素案のP119で「広報活動の充実」という項目を立ち上げていますが、実施しているからではなく、それをどのように市民に伝えるかが重要ということで整理しています。
- ・経費の節減については、P128でも健全な行財政運営として記載していますが、今、実施計画策定のための予算の見直しに併せて、事務事業等の総点検を実施しております。
- ・情報をまとめて集約して見られるようにという委員のご指摘は、市のウェブサイトでもそういった対応をとるべきということも含まれているのでしょうか。
- ・例えば、ハザードマップや子育て支援情報に簡単にたどり着ける、ということも含まれるのでしょうか。

(小林委員)

- ・受け手の立場に立った情報の提供やサービスの提供という観点が弱いように思います。実際には難しいこともあると思いますが、基本的な考え方として、そういう視点があるとよいと思います。

(吉川座長)

- 今のウェブサイトは、市職員にとっては非常に有効ですが、ユーザーフレンドリーではないと思います。市民は市役所の部局には興味はなく、それを市民にどのように見せるのかということを考える必要があると思います。これは、市だけではなく大学でも同様の問題です。
- 計画書も、市民フレンドリーな計画書というものが別にあってもよいのではないのでしょうか。

(高須委員)

- 情報提供の仕方は難しく、情報が多すぎても少なすぎても問題となります。
- 横須賀市では市民便利帳というものが配布されており、これを見ればおおよそ何か困ったことがあると対応できるようになっていますが、あまり活用されていません。そのため、町内会長が橋渡しすることになります。
- 最近の市民便利帳は広告も入っていて、経費削減にはなっていると思いますが、ややゴチャゴチャして見にくくなっています。
- こうした情報を活用するのは地域の人たちなので、地域の人に定着するように町内会などでも市と一緒にPRしていくことが必要だろうと思います。
- 先ほどから意見が出されているハザードマップなどについても、活用の仕方を町内会長が定期的に提示していくなど、提供された側もそれを積極的に活用するための取組が必要だろうと思います。

(林委員)

- P9の「地域経済活性化の期待」の中に、羽田空港の拡張の話が出ています。実際に、羽田空港の拡張に対して、何か具体的なアクションを横須賀市として持っているのでしょうか。例えば、湾岸道路の整備をさらに進めていくとか。

(事務局)

- こちらはハードの整備というよりは、国際化することに対応して外国人向けプロモーションなどを行っていく必要があるということで記載しています。

(林委員)

- P7の市民アンケートの項目では、横須賀市のシンボルと感じているものとして、第2位に「米軍・自衛隊の基地」がランクインしています。
- シンボルとして高い順位を得られているのは、自衛隊の観艦式の時に多くの人が集まるといったことなどに象徴されているように思います。
- 一方でこれに関連する施策はP65の「海と緑を生かした活気あふれるまち」の中に位置づけられておりますが、内容的には早期転用するということのみとなっています。
- この施策は米軍基地内の緑地などについて、市民への開放などを意図した内容と理解して良いのでしょうか。
- 市民が感じていることと、施策における方針がずれているように感じます。

(事務局)

- ・米軍基地に対する考え方は基本構想の中で定められており、今回基本構想を変更しないので、それを生かしています。
- ・大柱2の「海と緑をいかした活気あふれるまち」は、自然や緑の活用だけでなく、活気あれるまちとしての産業整備、市街地整備といった内容も記載しています。
- ・その流れで、米軍基地の問題がここに含まれています。
- ・「シンボル」と言いますと、自慢できるものとしてのシンボルと、存在感があるという意味でのシンボルの両方の意味合いがあります。双方の理由から米軍基地が2番目になっているのだらうと思います。
- ・ご指摘いただきました「集客として生かす」ことについては、大柱1の「いきいきとした交流が広がるまち」中に含まれていくと考えています。

(林委員)

- ・呉や佐世保を訪問したときに、まち自体が基地をうまく活用して、セールスに使っていると感じました
- ・シンボルとして高い位置づけになっているのであれば、基地に関する施策を大柱1の「いきいきとした交流が広がるまち」の中に位置づけた方がよいのではないのでしょうか。
- ・呉や佐世保に比べると、横須賀は基地の使い方が非常に下手で遅れていると感じます。
- ・最近では、こういった面に関して自衛隊も前向きになっています。

(木村(武)委員)

- ・駅を降りて目の前に潜水艦があるというまちは、そうありません。
- ・戦争とは関係なく、潜水艦が見られるまちというのは集客につながると思います。
- ・にぎわいという観点で、深い意味で捉えずに、駅から見られる潜水艦があるということも、売り出していくとよいと思いました。

(原田委員)

- ・一次産業に関連して、P51の「魅力あふれる農水産業の振興」に関連する意見ですが、この書き方では少し弱いように思います。
- ・近いうちに食糧危機が訪れるといわれている中で、漁業をどのようにするのかということを考えて計画した方がよいのではないのでしょうか。
- ・陸の上の企業誘致だけではなく、漁業者との兼ね合いはありますが、漁業場を整備するという考え方はどうでしょうか。最近ではゼネコン大手の中に養殖業に興味をもっているところもあると聞きます。
- ・食糧危機ということが騒がれていますが、それを想定して計画を立てているのですか。
- ・横須賀で採れる水産物の10~15%は地元で消費されています。国では食料自給率を現状の40%~60%にまで高めるといっていますが、計画にそのための対策が見えません。

(木村(忠)委員)

- ・全体的には、訪れる人を増やそうという方向性は感じるのですが、具体的な観光施策が

あまり見えないように思います。

- ・最近では軍港巡りというのもあり大変な人気となっているようですが、観光として来客者を増やそうとしているのに、そのための取組がいろいろなところで記載されていて、全体的な観点では整理されていないように思います。
- ・横須賀市の観光行政も、支所ごとに取組を進めてしまっているため、例えば、ポートセールスで日本丸を誘致しても、乗客は鎌倉に行ってしまうという現象が起きています。
- ・観光という観点で、様々な取組みを連携してつながりのあるようにしないといけないと思います。

(吉川座長)

- ・半日程度で案内するようなボランティアがあってもよいのではないのでしょうか。

(木村(忠)委員)

- ・クルーズ船の乗客に対しては、昔は船会社が観光をセッティングしていたのですが、今は乗客自らが検討することが多いと聞いています。そういったことへの対応も出来ないのではないのでしょうか。

(事務局)

- ・P36 の大柱1 「いきいきとした交流が広がるまち」において、大きな方針と実際の施策をまとめて整理しています。
- ・交流や集客に関しては、かなりボリュームを割いて記載していると思います。

(木村(忠)委員)

- ・細かく見ると、いろいろと記載されていることは理解しました。

(吉川座長)

- ・たくさん記載されていますが、つながりがないので、わかりにくいということでしょう。
- ・先日、小樽に行きましたが、ボランティアの方が観光案内などをしてくださいました。こういう「人を生かす」という取組みは、非常によいと思います。

(事務局)

- ・そうしたボランティアに高齢者の方が参加して頂ければ、財政面でも非常に有効な取組になるだろうと思っています。

(加藤委員)

- ・計画の内容については割と広く薄く記載されているような印象を受けます。
- ・P96 の「市街地の防災対策の推進」の施策「イ」の内容は、広域避難場所や一時避難場所が公園だけになっているように読めてしまいます。
- ・実際には避難場所として学校なども指定されていますので、広域避難「所」、一時避難「所」という表現のほうが良いと思います。

- ・また、P97 の「防災・危機管理体制の充実」の施策「エ」について、市内の一時避難場所では備蓄物資の更新が行われていますが、場所によってはだいぶ古くなっています。発電機などは、既に動かないものもあるのではないのでしょうか。

(事務局)

- ・災害時避難所と広域避難地ですが、前者が災害時に避難生活をして頂くところであり、後者がまず避難するための広い空間のことです。
- ・施策「イ」で記載しているのは、火災が起きたときに延焼遮断としての役割を果たす空き地を想定しています。

(吉川座長)

- ・そういう説明が計画の中に記載されている方が良いと思います。

(林委員)

- ・用語解説などで対応できるのではないのでしょうか。

(事務局)

- ・検討したいと思います。
- ・また、避難所の充実の施策は P97 の施策「エ」に含まれています。

(青木委員)

- ・書き方が階層的になりすぎていて、それぞれの部分で薄く広く触れられているので、読んでいる場所がどこの階層に位置づけられ、どういう切り口のどういう分野で触れられているかが分かりづらくなっています。
- ・各ページの空いているスペースで構わないので、今、全体の中でどこを読んでいるのかわかるようになるとよいと思います。

(吉川座長)

- ・他に何かありますでしょうか。
- ・また持ち帰ってお読みになって気になる点があれば、来週の頭くらいまでに事務局宛にファックス等でご連絡頂きたいと思います。
- ・最終的には議事録で確認しながら事務局と調整していきたいと思います。

3. その他

(事務局)

- ・この後、4次素案を作成いたしますが、21日に市長・副市長ヒアリングを行うこととなっているので、追加のご意見については20日までに頂きたいと思います。
- ・分科会はこれで最終であり、その後座長・副座長会で調整させて頂くこととなります。
- ・座長・副座長会については、8月6日(金)10:00から災害対策本部室で開催します。傍聴可能ですので、他の委員の方もよろしければご参加下さい。

- また、最終の第9回全体会については、9月6日（月）10:00 から災害対策本部室となります。
- これらの開催案内については事前にお送りさせていただきます。
- 本日の会議の議事録については、皆様宛に送らせて頂きご確認を頂き、確定としたいと思います。

(以上)